

# 市政に 全力投球!

市政ニュース2019年夏号

熊本市議会議員 上田よしひろ

# 上田よしひろ

上田よしひろ事務所

〒862-0975

熊本市中央区新屋敷 3-7-5

TEL 096-335-8100

FAX 096-335-8101

e-mail ueda-minsyu@sea.plala.or.jp



復興から賑わい!  
安心ある政令市くまもとへ

# 4期目も 市政に全力投球!

## 第61代市議会副議長に就任 - 6月議会で始動しました -

5月の市議会臨時会で副議長に選出いただきました。これまでご指導・ご支援頂いた皆様のお陰であると心から感謝申し上げます。

就任以降、各種「期成会・協議会・総会などでの挨拶」や、中学校体育館や中央公民館落成式などの本市行事へ参加し、議会を代表しての挨拶やテープカットなど、言わゆる「議会としての公務」という貴重な体験の場を頂いております。これからも2度とない職責を果たせるよう尽力して参ります。



熊本市災害公営住宅 舞原第二団地落成式  
災害公営住宅落成式



総会挨拶



総会挨拶



西山中体育館落成式



ドイツナショナルチーム



中央公民館開館記念式典

## 4月

### 統一地方自治体選挙(4月7日投開票)

4期目の挑戦となった「熊本市議会議員選挙(中央区)」が、3月29日告示/4月7日投開票で行われ、多くの皆様のご尽力・ご支援により当選を果たすことができました。震災から3年、『復興から賑わい・安心ある熊本づくり』の実現が、今後の目標・使命であると心に刻み、引き続き“市政に全力投球!”する所存です。



### 震災からの復興

熊本地震から3年。主なインフラ・公共施設等がほぼ100%復旧こそはしていますが、未だに仮設住宅等には、2,650世帯/5,674名(本年5月末)の方々が不安で不自由な生活を余儀なくされています。最後の一人ま

で取り残させない復興に向け、被災者の皆さんの心のケア・コミュニティづくりを含め取り組んで参ります。

### 賑わい元年!安心ある熊本に向け

新しい元号となった令和元年!熊本市にとって震災復興を進めながら『賑わいづくり元年』とも言える年となります。本市の中心市街地「桜町地区一帯の再開発がいよいよこの秋に完成」します。バスターミナル・商業施設・ホテル・マンションに加え、本市の「熊本城ホール」も完成!熊本城天守閣の特別公開も行われ、いよいよ国内外から多くの皆さんを招くための土台ができることとなります。



時を同じくし、「ラグビーワールドカップ」、「女子ハンドボール世界選手権」も熊本市で開催されます。熊本に賑わいを!市民の安心ある熊本市!に向け、頑張り甲斐のある1年であります。



## 5月



### 市議会臨時会で“副議長に就任”しました

統一地方選後の5月15日、市議会臨時会が行われ、正副議長をはじめ各常任委員会・特別委員会における正副委員長などが議員による選挙で決定する中、第61代副議長に選出いただきました。

4期目という早い時期での就任でもあり、緊張と責任で押しつぶされそうですが、これまでご支援いただいた皆さんの期待に応えるべく精一杯尽力して参ります。引き続きご指導をお願い致します。

## 6月

### 6月議会!39億円余の増額補正・条例案等を審議!

改選後、実質的に初の補正予算・条例等の議案審議を行う6月議会が、6月14日から7月2日の日程で行われました。本会議では、議長席へ度々座り議事進行する機会もあり、副議長として初議会はとても緊張感あるものでした。

### 総務委員会に所属!“災害救助実施市”関連議案などを審議しました

今期は総務委員会に所属!熊本市の「総務局・財政局・政策局・消防局等」が所管する本市事業・予算等を本格的に審議する委員会であります。6月議会では、①災害救助実施市の指定に伴う「基金設立条例」と基金積立て3億3,200万円の審議、②外国人受入れ・共生のための環境整備に関わる審議を行いました。災害救助実施市については、以下も参照願います。

## 7月

### 第25回参院選「一強政治の弊害続出!」 くらしに届く政治を!

7月4日公示/7月21日投開票で、参議院議員選挙が行われました。私は「熊本選挙区:あべ広美候補」、「全国比例代表:吉川さおり候補」の必勝に向け取り組みを進めてきました。

選挙戦では、安非法制・共謀罪・労働法制など審議なく強行採決を繰り返す、公文書偽造・隠ぺいや、金融庁審議会からの年金白書を受け取らない現政権に対し、与党一強のもとでは、国民・市民の生活そのものが疲弊し続けると訴えてきました。

また、働く皆さん・市民の代表として、『市民が主役の政治の実現』に向け、地域政党「くまもと民主連合」の一員として、地域の声を政治に届けて参ります。

## 熊本市「災害救助実施市」の指定を受けました!

災害救助実施の指定については、これまで熊本地震などの大規模災害の際に、国指定により適用される災害救助法に伴う「災害救助は都道府県が実施主体であったものが「熊本市が直接国と協議し、災害救助の実施できる」こととなりました。メリットとして、住人ニーズに直結した迅速かつ的確な応急救助ができる体制へと前進しました。

熊本市は、熊本地震からの教訓として、災害に強い都市づくりを目指していますが、この「災害救助実施市の指定」により、これまで以上にあらゆる災害を想定した防災・減災をはじめ、いざ災害時への初動対応から救助・避難など、市民が安心できる都市づくりに向け、熊本市の取り組みへのチェック機能を果たしていきます。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

## SDGs未来都市/自治体SDGsモデル事業の取り組み

SDGs(エスディーズ)とは・・・2015年の国連サミットで、先進国・発展途上国すべてが社会全体の開発目標として、2030年を期限とする「包括的な17の目標」を設定し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むというもので、和訳すると「持続可能な開発計画」と言われます。

SDGsの具体的な目標には、「貧困、健康と福祉、教育、ジェンダー、クリーンエネルギー、平和」等について具体的な数値目標があり、日本国内の自治体・企業をはじめとした地域社会全体で取り組むとされ、現在熊本の企業等も取り組まれています。熊本市も行政の取り組みとし、今後の総合計画等へSDGsの要素を盛り込まれることとなります。

そのような中、本年7月国から熊本市の取り組みが、SDGs達成に向け優れた取り組みと認められ、「SDGs未来都市(全国で31都市)」と「自治体SDGsモデル事業」に選定を受けました。

今後熊本市では、モデル事業として「①地域エネルギーの地産地消の発展」、「②EV車の電力供給に係る館員連携城業」、「③EVバスの導入促進」といった取り組みが進められます。既に、東部・西部クリーンセンターといったごみ焼却時の電力・余熱利用が進められており、またEVバスについても、本年から市内中心部を走る「しろめぐりんバス」に導入されます。

今後、地域においても「SDGs」に掲げられた目標を意識した取り組みが展開されていくこととなります。人口減少社会や少子化が進む中、私も「SDGs」の取り組みを通じ、持続可能な本市独自の取り組みについて、多に提案・実現を果たしていきたいと考えます。